



さざなみ

あらゆるひとが自分らしく輝き

互いに思いやるまち 成田をめざして

★Contents(主な内容)★

- ☆令和3年度 第3回セミナー 活動報告
- ☆令和3年度 男女共同参画講演会 活動報告
- ☆男性客室乗務員にインタビュー！
- ☆さざなみインフォメーション
- 令和4年度 男女共同参画推進員募集



あらゆるひとが自分らしく輝き

互いに思いやるまち 成田をめざして

◆第4次成田市男女共同参画計画◆

- ①女性の参画拡大のための機会づくり
- ②仕事と家庭を両立できる環境づくり
- ③暴力を許さない社会づくり
- ④生涯を通じて安全・安心を実感できる地域づくり
- ⑤人権を尊重する男女共同参画に向けた意識づくり



基本
目標



No. 58

成 田 市

2022年2月発行

ポジティブケア

でみんな笑顔

第3回セミナーテーマ 「介護」

「仕事と家庭を両立できる環境づくり」に関するテーマにしました。

表紙の基本目標との関連 ②④

～介護する人される人 みんなが笑顔でいるために～

講師 小黒 信也さん (合同会社未来介護プロジェクト)

令和3年10月3日(日) 午前10:30～ 赤坂ふれあいセンター 大会議室



今回の講演では、講師の父親の介護の実体験を通して、看病の難しさや、講師本人も看病される側になって、初めて身近な人が支えとなれば、認知症の人でも希望と尊厳をもって、生涯幸せに生活できることを学びました。

講師の認知症の父親の例として、鮎釣りが趣味の父親のために、仕掛けに必要な道具を渡したら、作り方を覚えていたとのこと。このことから、社会参加ができ、住み慣れた場所で生活ができれば、家族やケアする人の負担も少なくなり、当事者の中にはサポートを受けながら仕事をつづけている方々もいるとのことでした。

講師のお話を聞き、「認知症になったら人生が終わり」という考えは、過去のものにすべきだと思いました。私には認知症を発症した身内はおりませんが、誰にとっても身近なものだと実感したセミナーでした。

(豊田推進員)

参加者の声

豊富な実体験をお話されたことで、すべてのことが強く心に響きました。普通の生き方や心の持ち方が、大きな困難を乗り越えさせてくれると感じました。



介護する側、される側、双方の視点からの貴重なお話でした。介護について、仕事として知っていることと、私的な立場での言動が一致しないということが理解でき、共感しました。



活躍する男性に インタビュー!



前号に続き、性別にとらわれずさまざまな職種で活躍する方に注目し、今回は「男性客室乗務員」にお話を伺いました。

お話を伺ったのは、エアー・ジャパンの客室乗務員、蓮見さん。

小さい頃から乗り物が好きで、その中でも飛行機が好きだったとのこと。飛行機に乗った時に男性客室乗務員の姿を見たことがきっかけで、客室乗務員を目指すようになったそうです。

客室乗務員の仕事は、機内での仕事だけをイメージしていましたが、実際には乗務前の準備や日頃から確実な知識を持つための勉強は欠かせないといいます。

「パイロットを目指そうと思ったことはないの?」と聞かれることもあるそうですが、人と接したり、人を喜ばせたりすることが好きな蓮見さんは、客室乗務員を選んだそうです。



南極ではたらく かあちゃん 調理隊員になる

講師 渡貴 淳子さん
(第57次南極地域観測隊 調理隊員)

令和3年12月4日(土) 午前10:30~
赤坂ふれあいセンター 大会議室

講演会テーマ 「女性活躍」
「女性の参画拡大のための機会づくり」に関するテーマにしました。
表紙の基本目標との関連 ①②



講演会の冒頭のスライドは、南極でのご自身の姿でした。続いて植物の種、その種は渡貴さんの「顔の見える人たちのために料理したい、喜ばせたい」という想いの象徴であり、その想いは南極で開花し結実しました。

渡貴さんは、南極地域観測隊に女性隊員の存在を知り、映画「南極料理人」に感動し、「南極地域観測隊 調理隊員になる」と決意されたそうです。

12年の歳月を経て実現され、その過程は決して順風満帆ではなく、周到に準備したはずの採用試験も3回受験し、調理隊員となられたとのことでした。

南極へ向かう途中、航海上では大荒れが1週間以上続き、ひどい船酔い。南極では究極のエコ生活、限られた食材での調理。狭い空間での隊員たちとぶつかることもあったそうです。しかし、渡貴さんはそれをすべてクリアし、南極越冬隊の任務を果たして帰国されました。

南極での経験から、誰でも不必要な人はいないということをお話してくださいました。また、物が溢れかえった現代の日本に対する疑問も感じられ、それらを訴えつつ、新たな挑戦に心を燃やしている講師の姿は、とても美しく魅力的でした。

(佐藤推進員)

参加者の声

南極では常にフードロス、水の再利用、電力省エネを実行しながら生活されていたお話を聞き、感動しました。自分もできるエコなことを始めようと思いました。



女性だからと甘えることもなく、働く以上は男性と同じように頑張る姿はすばらしいと思いました。



南極に行こうと思ったきっかけが、生活のふとした出来事だったことに驚きました。子育てしながら私もなにかしたいと思いました。



現在、蓮見さんは「おもてなしプロモーター」を任せられ、お客様との会話から得た情報などから、「何かしてあげられることはないか」を考え、率先してサービスを提案されているそうです。ある便では、サービスを提供したお客様からだけでなく、それを見ていた他のお客様からお褒めの言葉をいただいたそうです。

仕事における男女の違いについては、入社前は女性の中で働くことに漠然とした不安があったものの、実際にはとても働きやすく、業務においては男女平等とのことでした。サービスや立ち居振る舞いも先輩方から学ぶことも多く、常に見られている意識を持ち、清潔感のある身だしなみを心がけていると笑顔で話してくれました。



今回、蓮見さんのお話の中で、性別に関わらず一人の客室乗務員として「おもてなし」と「思いやり」を持ってお客様に接していらっしゃる、心温まるお話をたくさん伺うことができました。いつか蓮見さんの乗務する便に乗ってみたいと思いました。

(豊田推進員・仲村推進員)

～令和3年度男女共同参画推進員活動を振り返って～

今年度はこの10人で活動しました♪

3年間推進員として活動させていただきま
した。「誰もがお互いに思いやることので
きる社会」を目指した男女共同参画につ
いて考える良い機会でした。

講演会の企画、推進員の方々との交流も楽し
い思い出です。学びの多い3年間でした。あ
りがございました。(天野推進員)



コロナ禍で知恵を出し合い、密度の濃い活動が
できたことが一番の成果でした。

この活動を通して、男女共同参画の取り組みは
家庭という身近なところでもできることを実感
しました。今後は「女性だから、男性だからで
はなく、私だからできる」という意識を持ち続
け、広めていきたいです。(谷推進員)

男女共同参画推進の理念や職務について、不勉
強なまま、何かしら社会に貢献できればという
想いで、この活動に参加させていただきました。
先輩推進員さんのご指導の下、何とか一年
が終わろうとしています。自分自身は立場や年
代の違う方々のお話を伺う機会に恵まれ、充実
した楽しい活動であったと感じています。

(仲村推進員)



オリンピックイヤーに、日本よりジェンダーギャ
ップが低い外国から多くのお客様が来日し
て、生活ぶりを手本にしたいと思っていま
したが、そのような活動はできない一年で
した。

オリパラ研修では、男女の区別をしない共同参
画の重要性を学びました。(内田推進員)

セミナーの講師の方々の様々なご経験から、いろ
いろと触発され、学ぶことができました。
また、推進員の方々がセミナーの開催等に献身的
に取り組まれているのに触れて幸せでした。

(佐藤推進員)

身体的差異(産む性、体力的差異)。こ
れは変えようのない大切な事実です。社
会の一員として互いの性の違いによる感
性や視点の違いを尊重して融合させ、活
動することが求められます。

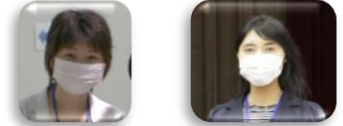
推進員として微力ながら関わったこと
で、多くのことを学びました。ありが
とございました。(相良推進員)



令和3年度も前年に引き続き、コロナ禍での活動
でしたが、セミナー・講演会を無事に開催する
ことができてよかったです。

男女共同参画推進員の活動については何一つ分
からず、ひとつひとつの活動を通して貴重な経験を
させていただきました。あっという間の一年で
した。ありがとうございました。(豊田推進員)

「男女共同参画」この言葉の意味もよく分
からないまま始めた推進員でした。すべてのセ
ミナーに共通していることは、性別や年齢に
とらわれない人と人とのつながり、関わりを
とても大切にしていることです。人が生きる
上で欠かすことのできないポイントを様々
な視点から考えることができました。一年間
ありがとうございました。(大木推進員)



普段は仕事と家との往復のみでしたので、
視野を広げたいとこの活動に参加させて
いただきました。推進員の方々は、年齢、
経験も様々なので勉強になることが多く、
講演会も回を重ねるごとに息の合った運
営ができるようになり、あっという間の一
年でした。

今後も、一人でも多くの方に男女共同参画
の活動に興味を持っていただけると嬉し
いです。(坂井推進員)

前年度開催できなかった講演会やセミナー
を、コロナ禍が4波5波と続く中、感染症
対策を施しながら開催できたことは、貴重
な道標になったと確信しています。テーマ
選択など忌憚なく話し合い、「さざなみ」の
インタビューにも代表者が交替で足を運
び、作り上げました。

今後ますます拓けゆく「成田市男女共同参
画推進委員会」として、充実、発展してい
きますよう願っています。(佃推進員)

SAZANAMI INFORMATION

さざなみインフォメーション

「あなたらしさ」を見つける小さな一歩を踏み出してみませんか？

成田市男女共同参画推進員を募集します

◆応募資格 ①市内在住の20～74歳の方(令和4年4月1日現在) ◆募集人員 10人(応募者多数は選考)
②講座の企画運営など年10回程度参加できる方

◆任 期 令和4年4月1日～令和5年3月31日

◆応募締切 令和4年2月25日(金)必着

◆応募方法 申込書(住所・氏名・性別・生年月日・電話番号・これまでの社会活動等があれば記入)を直接・郵送・Eメールのいずれかで市民協働課まで。後日面接を行います。

(〒286-8585 成田市花崎町760 TEL:0476-20-1507 Eメール kyodo@city.narita.chiba.jp)

※申込書は市民協働課窓口、市ホームページにもございます。(様式は問いません)

※さざなみは、市役所、各支所、公民館、図書館、保健福祉館、三里塚コミュニティセンター、公津の杜コミュニティセンター、男女共同参画センター、市のホームページ(<https://www.city.narita.chiba.jp>)にあります。

登録番号成協21-044

